臨床研究実施のお知らせ

研究情報の公開について（オプトアウト）

目的を含む研究の実施についての情報を公開し、患者さんが研究への参加をいつでも制限・拒否できる機会があることを「オプトアウト」といいます。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	集中治療領域における電磁誘導式栄養チューブ留置システム(CORTRAK*2)を用いた幽門後栄養チューブ留置の有効性および安全性に関する単施設後方視的観察研究.
本研究の研究責任者	社会医療法人近森会近森病院　救命救急センター 科長 三木 俊史
当院の責任者	社会医療法人近森会近森病院　救命救急センター 科長 三木 俊史
研究目的	重症の患者さんでは胃の動きが低下し、嘔吐や誤嚥が問題となることがあるため、胃の先のへ栄養を届ける「幽門後投与」が行われます。本研究は、当院が 2024 年に導入した電磁誘導式の留置装置（CORTRAK*2）について、留置の成功率・所要時間・安全性と、留置後に栄養投与を遅れなく開始できたかを明らかにし、今後の栄養管理の向上に役立てることを目的としています
研究期間	2024 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日
研究方法	上記の対象期間中に当院集中治療室に入室され CORTRAK*2 による幽門後栄養チューブ留置を受けられた患者さんを対象に、診療録に記録済みの情報を後から調べます。留置の状況（成否・所要時間・実施回数)、留置後の栄養投与状況、合併症の有無などを調査します。この研究のために新たな検査・治療・採血を行うことは一切ありません。
情報の提供先	得られた情報は当院内でのみ処理を行います。得られた結果や情報は学会や論文等で発表を行います。
個人情報の取扱い	得られた情報は個人が特定出来ないように匿名化と呼ばれる処理を実施し、患者さんの不利益が発生しないように配慮いたします。
利益相反について	ありません
お問い合わせ先	社会医療法人近森会近森病院　救命救急センター 部長 三木 俊史